



愛媛
CATV
動画

8/3 8月は電気使用安全月間
南宇和電気工事組合が高齢者宅の電気安全点検



▲組合員から正しい配線方法のアドバイスを受ける

南宇和電気工事組合・(一財)四国電気保安協会・四国電力送配電(株)の3団体が西海地区に暮らす高齢者宅11軒を訪問し、配線状況の確認と安全性の向上につながる配線方法について組合員がアドバイスしました。

夏場は高温多湿なため1年の中でも電気事故が多く、私たちの身近な暮らしの中に危険が潜んでいます。

この日点検を受けた中平重美^{しげみ}さんは、「普段からプラグ周りの掃除など電気による火災が起きないように気を付けているが、改めてプロの目で点検してもらえるとより安心する」と話しました。この点検は年ごとに旧5カ町村を巡回しており、来年度は一本松地域で実施される予定です。

南宇和電気工事組合

理事長:岩村 真典^{まさのり} 副理事長:松田 寛幸^{ひろゆき}

【組合員(加盟事業者)】

- ・(株)岩村電気水道 ・ マツダ電化
- ・(有)永井電器店 ・ メンテナンスサービス山口
- ・(有)山下電機商会 ・ (株)愛南設備 ・ 後藤電器
- ・(有)坂本電工 ・ 田村電気工事店 ・ 中山電気
- ・(株)プロGRESS ・ 南宇和ガス燃料(株)



▲前列左から 松田さん、岩村さん、古川さん
後列左から 吉良さん、今村さん、永井さん、
山下さん、後藤さん、山口さん

8/6 住民一丸となって立ち向かう
「愛南町暴力追放JUMIN大会」を開催



愛媛
CATV
動画



▲永井委員長の講演「社会からの暴力団排除にむけて」

暴力団のいない明るく住みやすい町づくりを実現し、町民の安全・安心な生活の確保と社会経済活動の健全な発展を目指すため、「愛南町暴力追放JUMIN大会」が御荘文化センターで開催されました。

大会では愛媛弁護士会民事介入暴力対策委員会の永井卓也^{たくや}委員長が講演を行い、『暴力団を恐れない・資金を提供しない・利用しない・交際しない』の暴力団追放三不運動+1を実行し、一人で抱え込まないこと、早い段階で相談することで被害を最小限に抑えられることなど、社会から暴力団を排除するために町民全体で立ち向かうことへの重要性を話しました。

8/8 漁港等の迅速な復旧を図る
『漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定』を締結



愛媛
CATV
動画



▲協定書を手にする永井業務執行理事と清水町長

大規模災害時など漁港等の迅速な復旧復興を行うため、一般社団法人水産土木建設技術センターと愛南町が『漁港等の施設の災害復旧支援に関する協定』の締結式を行いました。

東日本大震災の復旧復興工事など全国的に発注支援実績がある同センターは、発注関係事務を適正かつ公平に行うことができる機関として、「水産関係公共工事等発注者支援機関」の認定を受けており、全国53の市町村と協定を結んでいます。

この協定により、今後速やかに復旧事業が行えるよう町の体制を整備するとともに、災害発生後は被災状況の確認や応急工事の実施、災害査定に必要な設計書の作成など、町からの要請に基づいて支援が行われます。

8/14 地元の海をきれいに
「地球と音のカーニバルin愛南」でビーチクリーン活動



愛媛
CATV
動画



▲町外からもビーチクリーン参加者が集まった

近年の深刻な海ごみ問題について一緒に考え、楽しみながらビーチクリーン活動を行おうと、グリーンパーク須ノ川で『地球と音のカーニバルin愛南』が行われました。

イベントには町内外から多くのキッチンカーが出展し、南米の民俗音楽フォルクローレ奏者のアントニオ・カマケさんによるステージや子どもたちのフラダンスが訪れた来場者たちを楽しませました。

また、元越海岸では地球を大切に思う気持ちを子どもたちや未来へつなげていけるようにと、打ち上げられたごみや流木などを参加者が協力しながら回収していきました。

8/18 「海との関わり」「地域の誇り」を語り継ぐ
愛南町が「海ノ民話のまち」として認定



愛媛
CATV
動画



▲左から 芝田事業プロデューサー、清水町長、沼田選定委員長

日本に残された海にまつわる民話を発掘し、物語に込められた「思い」「警鐘」「教訓」をアニメーションとして映像化することで、子どもたちに語り継ぐことを目的に行われている「海ノ民話のまちプロジェクト」に内海地域の民話「大猿島と小猿島」が選ばれました。

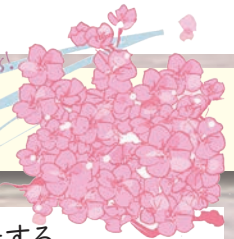
これを受け、一般社団法人日本昔話協会から清水雅文町長へ認定書が贈呈されました。

「ふるさと日本昔ばなし」の制作スタッフが作るこのアニメは子どもから大人まで楽しみながら民話の世界に近づくことができ、完成後は上映会を行うほか、地域の活性化や魅力発信、海洋文化の継承などに活用されます。



大切な家族への思いを綴る 少年の主張大会で最優秀賞

Congratulations!



中学生が日常生活で感じたこと、社会に伝えたい思いを発表する「愛媛の未来をひらく少年の主張大会」が9月3日(土)に県生涯学習センター(松山市)で行われ、一本松中学校3年が最優秀賞に選ばれました。

「それはすてきなことだ」のタイトルは、夢を追うため進学先に悩む自分と大好きな家族との信頼関係を称賛し、喜んでくれたスクールカウンセラーの一言。この言葉をきっかけに一步進む勇気を出せたことや前向きに進学先の検討ができたことを大会で熱弁しました。緊張で震え迎えた本番も、今までで一番の笑顔と感情の込められた朗読、家族への感謝の思いが大きな評価を受け、今回の結果へとつながりました。

WEB開催で行われる全国大会へ向け、動画撮影に臨む生徒は、「対面で伝えることができないからこそ、しゃべり方や表情、表現方法を工夫し、自分の思いを伝えたい」と笑顔で話しました。

地域おこし協力隊 活動日記



「皆さん、青果市場って知ってます？」

愛南町の皆さま、こんにちは。農林課の地域おこし協力隊として7月に着任しました和氣邦夫です。早くも2カ月半が過ぎてしまいました。私は今、農業振興の一環として愛南町青果市場で市場の仕事を日々修行中です。最近やっと仲買人の方々の顔と屋号とお名前が一致するようになりました。「新生姜ですか早いですね。」「何、言いよるんだなあ〜、もう終わりやがなあ〜。」あらま!ハウス栽培と露地栽培との旬の時期などわからないことだらけですが、その分知ることが多く、楽しく日々勉強させてもらっています。

夏の青果物の少ない時期に着任したため、出荷物が少なく寂しい限りです。そこで感じたのは、皆さまが青果市場の事をご存知ないのではということです。

愛南町に青果市場…あるんですよ!

いい加減な物は売れないのでは?どれくらいの量から?包装は?値札は?生産者のシールは?素人が作ったものだから。出し方知らんけん。心配いりません!少量でも、形が悪くても、農場ではなく家庭菜園で取れたものでも何でも大丈夫です。自分が栽培したものが売れる喜びを味わいませんか。気兼ねなく問い合わせ下さいね。

それと、商品開発では「どぶろくなっそ」を製造販売している「企業組合いわまつ」とのコラボで愛南ゴールド入り生甘酒の商品開発をしています。8月の愛南マラニックではかなり好評で、手ごたえを感じることができました。今後、ブラッシュアップを重ねて皆さまに提供できるよう頑張りますので期待してくださいね。それではまた3カ月後にお会いしましょう。

